

都市再生整備計画 事後評価シート  
浦添南第一地区

平成24年2月

沖縄県浦添市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	沖縄県	市町村名	浦添市	地区名	浦添南第一地区	面積	82.4ha						
交付期間	平成19年度～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1,729百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		公園、高質空間形成施設(トンネル等修景)、土地区画整理事業										
	提案事業		事業評価調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板整備)	事業名		削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	宅地利活用推進方策等検討調査、まちびらきイベント			将来的なモノレール延長の際に一体的に整備を行うことにより、効率良く整備することが可能であり、都市再生整備計画期間内での整備は行わない方針としたため	情報板を設置することは、まちづくりの目標の一つである快適な生活道路空間の形成に影響するものと考えられるが、関連事業である土地区画整理事業(道路特会)が現在施行中であり、最終的に影響が出てくるのがその事業の最終段階である。その時点では、モノレール関係の工事もある程度完成し、情報板の整備も合わせて行われる予定である。従って、指標及び数値目標は現在のまま据え置きとする。						
新たに追加した事業	基幹事業	なし			宅地利活用推進方策等検討調査:地区内の大規模商業施設の開店や保留地販売に対するニーズが高く、また、将来的なモノレール延長の計画により宅地としての利用率が高くなってきており、調査を実施しなくても市街化の推進を図る事が可能な状況であると考えるため	現在、宅地利活用推進方策等検討調査を実施しなくても市街化の推進を図る事が可能な状況であると考えられる。また、地区のPR、イベント等に関しては良好な住環境の形成に繋がるものと考えられるが、大規模商業施設の誘致・開店によりイベントが開催された場合と同等の効果があつたものと考えられる。従って、指標及び数値目標は現在のまま据え置きとする。							
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	建築棟数	棟	138	H18	210	H23	182	250	○	あり	土地区画整理事業の実施及び公園整備により、良好な住環境が創出され、地区内の建物棟数の増加に繋がった。	H24年5月
	指標2	公園利用者数	人/月	0	H18	80	H23	-	117	○	あり	都市再生整備計画の導入により公園と都市再生区画整理事業との一体的な施行が行われ、地区内の緑の創出及び公園利用者数の増加に繋がった。	H24年5月
	指標3	通過台数	台/h	421	H18	200	H23	444	363	△	あり	事業途中段階においてモノレール延長の計画が実現化したため、都市計画道路の断面構成が定まらず、暫定的な整備にならざるを得ない状況であったこと、また、都市計画道路の築造が完了していない事から通過台数の大幅な減少には至らなかった。しかし、中間モニタリング時点と比較して、台数の減少は見られ、目標値には及ばないものの一定の効果は発現している。	H24年5月
	指標4									あり			
指標5									あり				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	本地区における住みやすさ	%	-	-	67	70						
	その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-						
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-							
4)定性的な効果発現状況	地区内居住者アンケートを再度実施し、まちづくりに対する意見や関心を得ることができた。その中でも、区画整理事業開始後に地区内に引越した方について引越しの理由を伺ったところ、「大規模商業施設が開店し買物に便利」という回答が増加しており(モニタリング時:5%、事後評価時:29%)、本地区の利便性が向上している事が見て取れる。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	交通量調査、工事進捗状況、地区内居住者アンケート等によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			モニタリング同様、今後も確認等を行っていくものとする。	
	住民参加プロセス	住民ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			今後も市民の意見を聞いて、計画段階から地域と協働のまちづくりを進めていくものとする。	
持続的なまちづくり体制の構築	地域まちづくり活動団体の立上げ	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			現在、市のまちづくり活動の一環として「美らまちサポーター制度」を設け、道路等の清掃・除草・植樹・散水等のボランティア活動を行う方々を対象として支援を行っており、この活動を契機として、市民主体のまちづくり活動団体の立上げを目指していくものとする。		

## 様式2-2 地区の概要

